

イノベーションインストラクター育成塾などの ご紹介 ～ ものづくり人材育成センターについて ～

2019年7月11日



HIROSHIMA
SANSHINKO

公益財団法人ひろしま産業振興機構
HIROSHIMA INDUSTRIAL PROMOTION ORGANIZATION

ものづくり人材育成センター
住井 雄二

ひろしま産業振興機構について

ビジネス サポート

ひろしま産業振興機構は、県内の産業支援機関とネットワークを形成し、中小企業・ベンチャー企業の新規ビジネス等に関する様々な取組みを総合的に支援します。

原則利用無料／原則相談無料



経営相談

「さまざまな問題を相談したい」

技術・経営・販路などあらゆる相談に専門家がお答えします。



創業

「創業したい」

創業希望者や第二創業を目指す企業の方を対象に中小企業診断士等がサポートします。



紛争解決

「取引上の紛争を解決したい」

下請代金法などに詳しい相談員が無料で相談に応じます。



施設利用

「展示場、会議室、研修室を借りたい」

イベント・展示会・研修・会議などに施設をご利用ください。(有料)



施設入居

「オフィスを借りたい」

創業者に対して、低料金でオフィスをご提供します。(有料)



知財

「知的財産に関する問題を相談したい」

企業経営に必要な知的財産の制度や活用方法についてアドバイスします。



共同研究

「大学・公設試と連携したい」

企業のニーズを大学・公設試の技術シーズとマッチングさせて技術開発・商品開発を支援します。



利益向上

「新商品をもっと売りたい」

トップレベルの専門家が、機動的にビジネスサポートを行います。(有料)



販路拡大

「新規取引先を開拓したい」

商談会などを開催し、新たな取引先の開拓を支援します。



助成金

「助成金を受けたい」

事業化、市場化、外国出願に対し、助成を行っています。加えて、競争的資金の紹介や採択に向けた支援を行います。



海外展開

「グローバルな経済活動をしたい」

海外事務所による情報収集や海外バイヤーとの商談会などを実施します。



人材育成

「人材を育てたい」

高度技術の人材育成研修を行っています。



技術評価

「実力を評価してほしい」

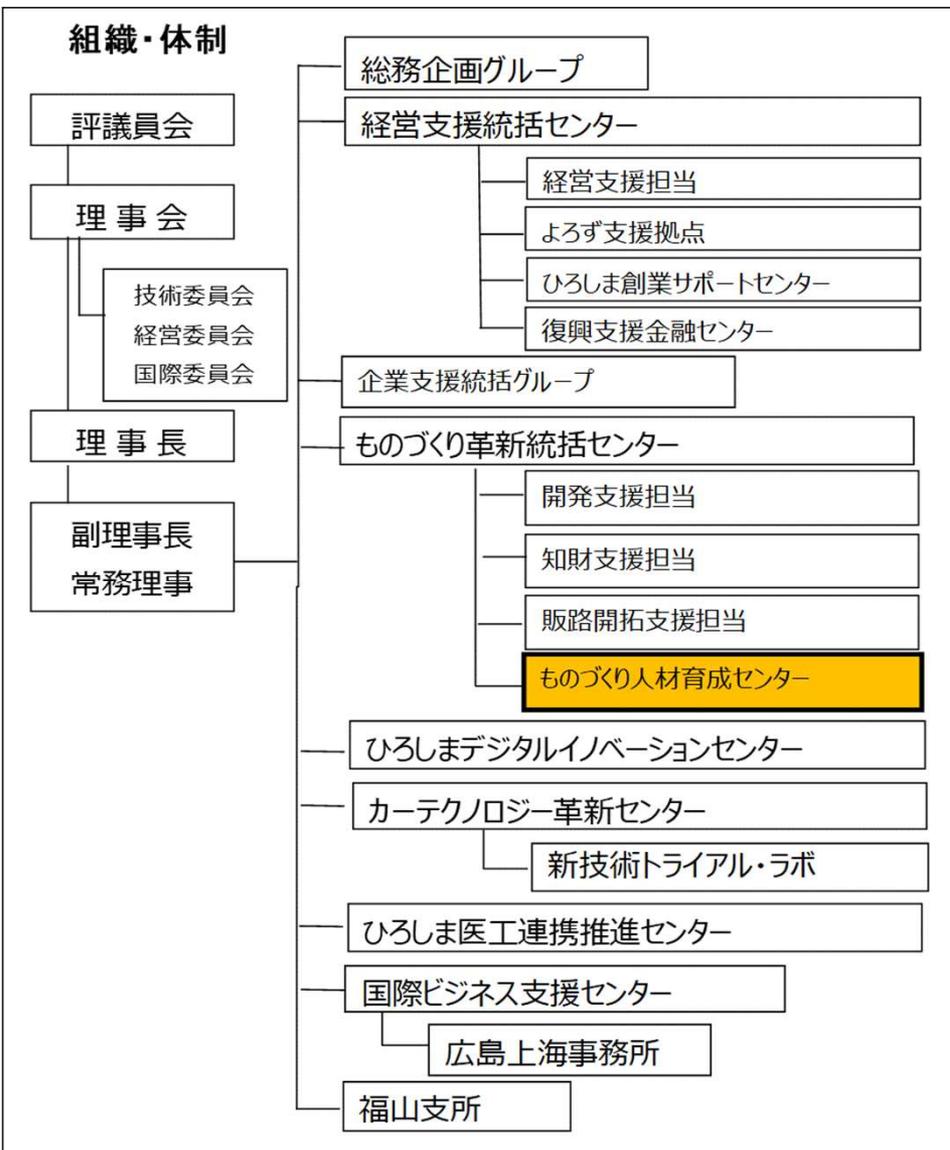
中小企業の技術と経営力の評価を行います。(有料)



財団のWEB、情報誌の発刊
等で情報発信中!!



ひろしま産業振興機構 組織図



- ・ センター長
 - ・ 副部長
兼 育成塾 塾長
 - スタッフ
 - ・ 課長
 - ・ 専門員
- (有期雇用)
企業からの出向者

サポート 中国経済産業局
広島県商工労働局

H27年4月 設立

ものづくり人材の育成支援

現場カイゼン能力と生産性の向上を図るため、ものづくり企業の従業員とOBの研修、及び修了生を企業派遣し、現場改善を支援する

中小企業成長支援人材育成・派遣事業を平成27年度から実施（経済産業省補助金事業）

- カイゼン指導者育成事業を平成27年度から活用
- スマートものづくり応援隊事業を平成29年度から活用

【事業内容】

現場改善指導者育成事業

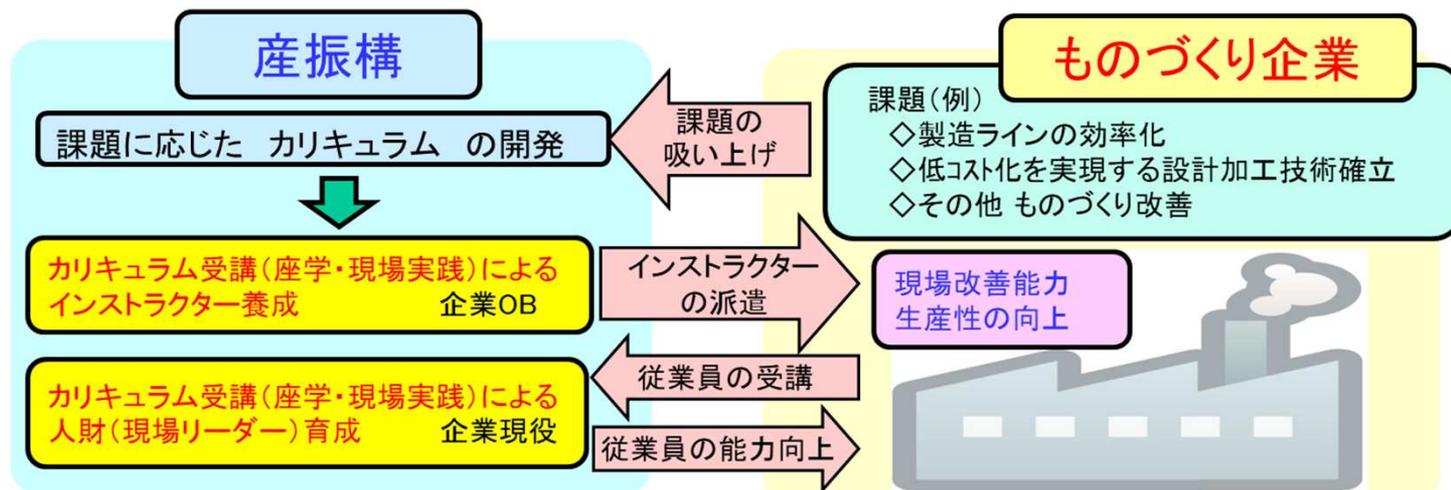
イノベーションインストラクター育成塾(IT及びIoTに知見を有する人材の受入れ開始)

IoT導入支援指導者育成事業(平成29年度より)

- ・IoT実践セミナー（基礎編：IoTありきでなく、IoTに対する理解や興味を促す）

改善指導者派遣事業

現場改善インストラクター派遣



1. 現場改善指導者の育成

～ イノベーションインストラクター育成塾

中小企業成長支援人材育成・派遣事業 (H27年度から実施)

H29年度より「スマートものづくり応援隊」事業

1. 現場改善指導者育成事業

イノベーションインストラクター育成塾

IoT・ロボット導入支援指導者育成事業 (H29年度より)

2. 改善指導者派遣事業

現場改善インストラクター派遣

産振構

課題に応じた カリキュラム の開発



カリキュラム受講(座学・現場実践)による
インストラクター養成 企業OB

カリキュラム受講(座学・現場実践)による
人材(現場リーダー)育成 企業現役

課題の
吸い上げ

インストラクター
の派遣

従業員の受講

従業員の能力向上

ものづくり企業

課題(例)

製造ラインの効率化
低コスト化を実現する設計加工技術確立
その他 ものづくり改善

現場改善能力
生産性の向上



取り組みの概要

目的

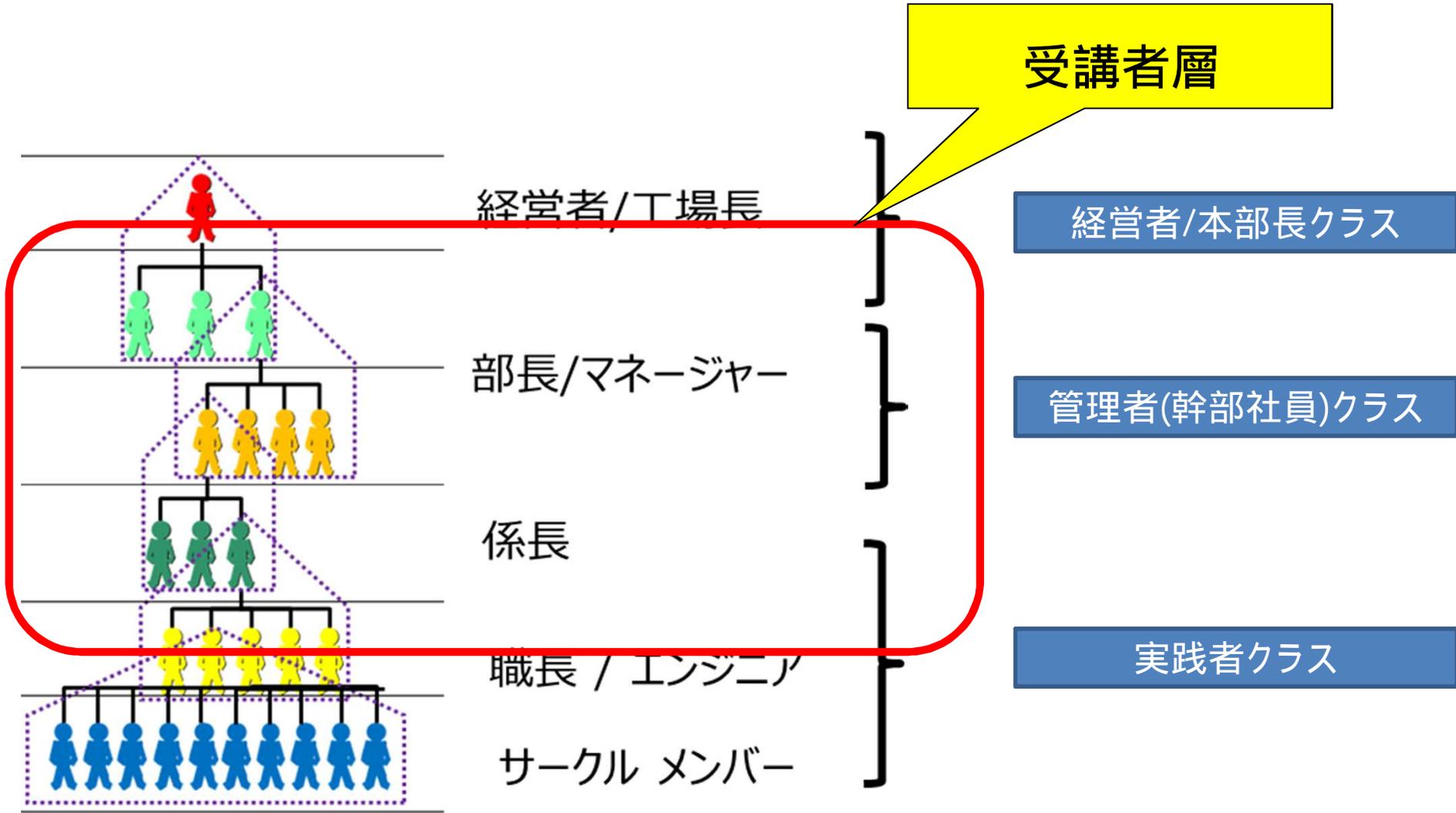
広島県の中小企業が、「品質Q・コストC・納期D」の改善で現場力を高め、企業収益力を上げるものづくり改善指導者人材（インストラクター）を育てる。

対象者：ものづくりの知識・経験を有する方

IT(IoT)やロボットに知見を有する方（今年度より追加）

- ・自分たちの手で、現場に入り込み、周囲を巻き込み
 - ・提案・実施できる人材
 - ・現場力向上のリーダーとなるべき人材
- を育成する。

育成塾でのターゲット層



連携：(一社)ものづくり改善ネットワーク

地域	月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
県西部地域 (広島会場)	受講生募集			イノベーションインストラクター 育成塾開講(5月予定) 講義:週1回、実習:週2回の 全18回実施			修了	自社で 改善実施		改善報告会				
県東部地域 (福山会場)							受講生募集	イノベーションインストラクター 育成塾開講(9月予定) 講義:週1回、実習:週2回の 全18回実施			修了	自社で 改善実施		改善報告会

年2回開催は、広島県のみ

動機付け
手法(理論・演習)
現場改善実習
成果発表

ものづくりとは何か?企業競争力を高めるためのQCDの改善についてなど、ものづくりについての概論を学び、改善への動機付けを行います。

人の動作、物の流れ、設備の稼働など、製造現場の問題点を見える化する分析手法から、その問題を解決するまでの流れを学びます。

チームを編成し、実習先企業の現場にある実際の課題をテーマに取り上げ、講義で学んだ事を応用しながら改善策を検討します。

実習先企業に対して、チーム毎に検討した改善策を提案します。成果発表会では、各チームが改善策を発表し、お互いに質疑や議論を行います。



- カリキュラム体系
カリキュラムは動機付け、体系的なものづくりの座学、QCD領域の改善手法、演習、現場改善実習の項目で進める。

動機付け

→

座学

→

手法

→

現場改善実習

成果発表

- 育成塾修了後には、塾で学んだ事を活かして自社で改善活動に取り組み、その状況・成果について発表する。
(2～3か月後)

現場改善報告会

講座日程（第9期福山会場）

第9期イノベーションインストラクター育成塾 スケジュール予定表

福山会場（福山市ものづくり交流館）（10：00～18：00）

日数	日付（福山）		場所	カリキュラム体系	午前		午後
					序論	概論	
1	9月11日	水	会議室	概論	序論	概論	改善インストラクターの心得
2	9月18日	水	会議室	手法 (理論・ 演習)	コストと生産性		プロセス分析
3	9月25日	水	会議室		5 S		ものと情報の流れ図の活用
4	10月1日	火	会議室		I E（人の作業の改善）		
5	10月2日	水	会議室		I E（工程設計 & 改善）		
6	10月9日	水	会議室		Q C手法と問題解決の進め方		
7	10月16日	水	会議室		設備生産性の改善・生産管理・物流の改善		
8	10月23日	水	会議室		現場改善の進め方		現場実習オリエンテーション
9	10月30日	水	現場実習先		現場実習	現場改善実習①	
10	10月31日	木	現場実習先	現場改善実習②			
11	11月6日	水	現場実習先	現場改善実習③			
12	11月7日	木	現場実習先	現場改善実習④			
13	11月13日	水	現場実習先	現場改善実習⑤			
14	11月14日	木	現場実習先	現場改善実習⑥			
15	11月20日	水	現場実習先	現場改善実習⑦			
16	11月21日	木	会議室	現場改善実習⑧			
17	11月27日	水	現場実習先	実習成果報告	実習先での成果発表		
18	11月28日	木	会議室		全体成果発表、修了式 認定証授与		
19	2月14日	金	会議室	改善実施報告	改善報告会		

カリキュラムの主な特徴



INNOVATION
INSTRUCTOR

概論	ものづくりの基礎概念	「製品」や「生産プロセス」に関する基礎概念を理解する。ものづくり＝「良い設計の良い流れ」との考えに基づき、現場における「もの」と「設計情報」の流れについて理解する。
	ものづくりの競争力	企業の経営力強化に必要な競争力の要素を理解する。 ～「表の競争力」と「裏の競争力」～
手法 (理論・演習)	改善インストラクターの心得	改善活動をリードする担当者に必要とされる「現状を見抜く力」「問題を定義し改善案を提言する力」「組織集団の能力を引き出す力」など、周囲を巻き込んでモチベーションを高め継続して成果を出し続けるスキルを理解する。 ～リーダーシップ/マネジメント/コミュニケーション～
	コストと生産性	改善活動と会社の利益の関係性について学ぶ。身近な事例を想定した損益分岐点の計算等を通じて原価構成や改善効果について理解する。
	プロセス分析	生産に係るプロセスの特徴とそれを図化する方法について理解する。 ・空間で見るプロセス記述 ・時間軸で見るプロセス記述
	企業のパフォーマンスの測定	ものづくり現場の現状把握に必要なパフォーマンスの測り方を理解する。
	5S	現場改善の基本である5Sについて、その意義と活動の進め方を理解する。 ～赤札作戦・3定・看板作戦～
	ものと情報の流れ図の活用	実際に改善を行う際に最初に作成する「ものと情報の流れ図」を理解する。流れ図によって不具合の兆候を発見し、ボトルネックを解消する手順を演習によって習得する。
	IE（人の作業の改善）	人の動作についての改善の目付き・考え方と改善を進める手順を学び演習を通じて理解する。 ～演習：懐中電灯組立工程改善～
	品質管理 QC手法と問題解決の進め方	問題を解決するための基本ツールであるQC7つ道具、データのばらつきから適切な判断を下すための統計的なもの見方・考え方と統計解析手法について理解する。 ～演習：コイン飛ばしでのばらつき改善～
	設備生産性の改善	人と並んで生産プロセスの生産性を高める重要な要素である「設備」について、改善ポイントを見つける目付きや考え方、改善を進める手順を理解する。
	生産管理・物流の改善	生産の仕組みや物の流れを改善するとどのような効果があるか、その目的と進め方を理解する。
	改善実習の進め方	現場実習で各チームが活動を進める上で、メンバーと協力しどのような手順で現場改善を進めて行けば良いか事例を交えて理解する。
	現場改善実習事前分析	実習職場に入る前に、講師が事前に入手した現場データをもとに実習の準備をする。 ～ワークショップ～
	現場実習	現状分析・改善策の検討
成果発表	改善策の提案	現場をお借りした実習先企業に対して、チームで改善策を提案する。他の現場に実習に行った塾生や上司又は関係者に対して、改善策を報告し、多角的な視点からフィードバックを得る。（質疑応答・意見交換）
改善報告会	現場改善実践	育成塾で学んだことを自社に展開し、実践して出した結果をお互いに報告することで、つながりによるモチベーションの向上に加え継続的な改善へ向けた意欲を維持する。

カリキュラムの主な特徴

育成塾の修了生は「イノベーションインストラクター」として認定

- ・現役社員の方：自社の現場改善活動に対する継続的な支援
- ・企業OBの方(IT及びIoTやロボットに知見を有する人材を含む)：現場改善ニーズを持つ企業とのマッチングや派遣を斡旋

さらに、インストラクター同士の定期的な交流を通じてモチベーションを高めていただくとともに、現場に関する質問や要望に応えていく。

動機付け・概論

- ・育成塾について
- ・ものづくり基礎概念
- ・競争力と企業パフォーマンス
- ・改善インストラクターの心得



手法(理論・演習)

- ・コストと生産性
- ・ものと情報の流れ図
- ・IE(人の作業改善)、からくり改善
- ・品質(QC手法)
- ・設備生産性の改善、5S
- ・生産管理・物流の改善



「イノベーションインストラクター育成塾」 風景 (座学)



現場改善実習(実践)

現場改善実習(実践)

4～5人のチームで現場改善を実践する。
改善課題を企業と話し合い取り組み目標を決める。
各チームには講師が同行し、様々なアドバイスをを行う。

改善課題(過去の事例)

- | | | |
|----|-------|----------------------|
| A社 | 改善テーマ | Aシリーズのリードタイム50%減 |
| B社 | 改善テーマ | リードタイム30%短縮、生産性30%改善 |
| C社 | 改善テーマ | 人・機械を増強することなく生産性を向上 |



「イノベーションインストラクター育成塾」 風景 (実習)



「イノベーションインストラクター育成塾」 風景 (全体発表会)



「イノベーションインストラクター育成塾」 風景 (現場改善報告会)

現場改善報告会

育成塾修了後(2～3か月後)に自社で改善に取り組んだ内容を発表



育成塾の主な実績内容

開講

H27年度：第1期福山会場

H28年度：第2期広島会場、第3期福山会場

H29年度：第4期広島会場、第5期福山会場

H30年度：第6期広島会場、第7期福山会場 修了。

H31年度：第8期広島会場(開催中)、第9期福山会場(募集中)

受講人員

累計 90名(内 女性2名)のインストラクターを育成 (第7期終了時)

第6期より「ITコーディネータ」の受講受入れを開始 (3名修了)

第8期では、2名の中小企業診断士がOB枠で受講。

受講者の内訳

製造課社員、主任、課長、工場長、製造部門副本部長、製造会社社長、

ITコーディネータ、中小企業診断士等

育成塾の主な実績内容



受講企業

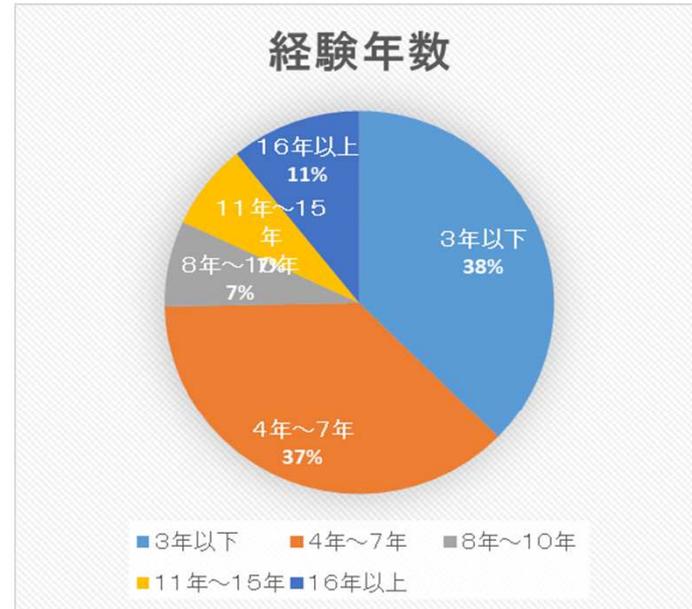
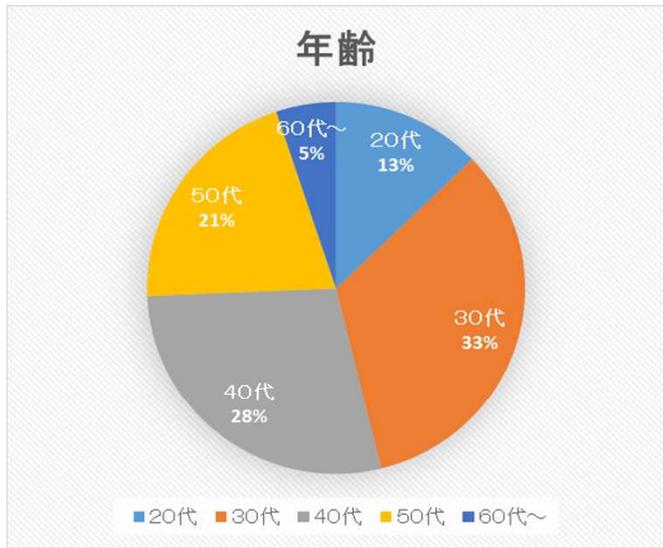
60社。(複数回受講企業: 17社、第8期開講時点)

~ 第8期では、新規受講企業10社、リピート企業6社、受講生19名が受講中。

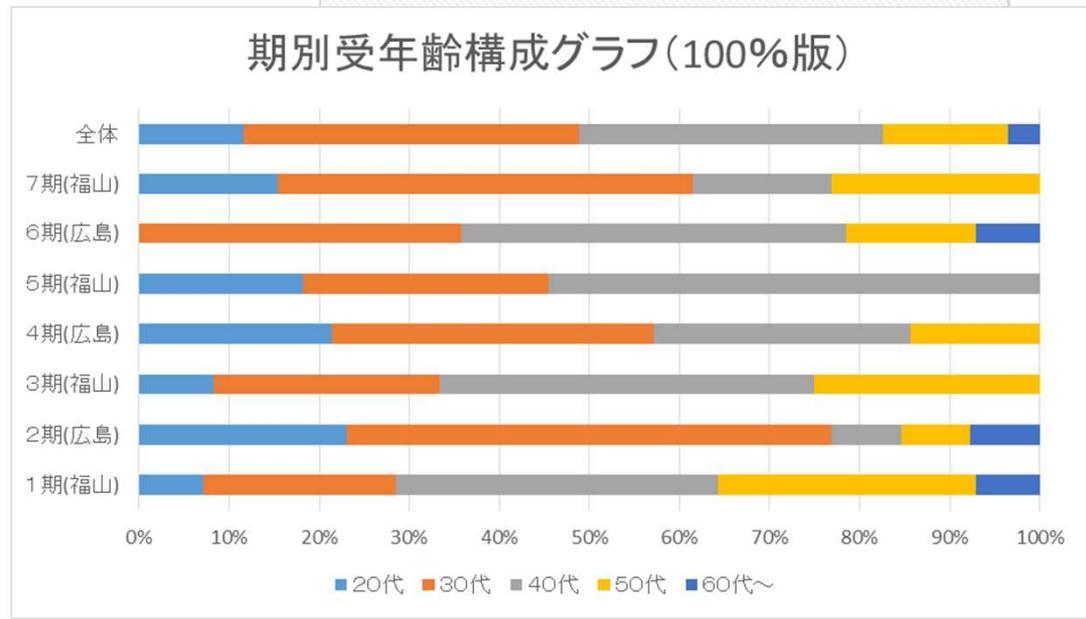
実習先

現場実習先: 機械製造会社、電気機械器具製造会社、金属加工製造会社、食品製造会社、塗装会社など

育成塾の主な実績内容（構成 1）

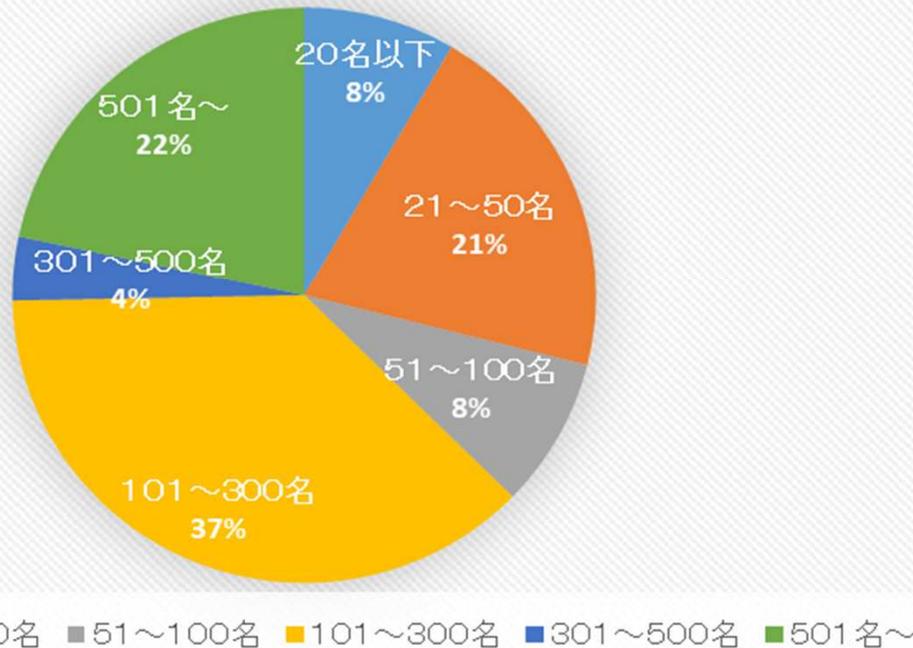


経験年数の浅い若年層（20代、30代で、経験が3年以下）の受講が4割弱ある。



育成塾の主な実績内容（構成2）

従業員数



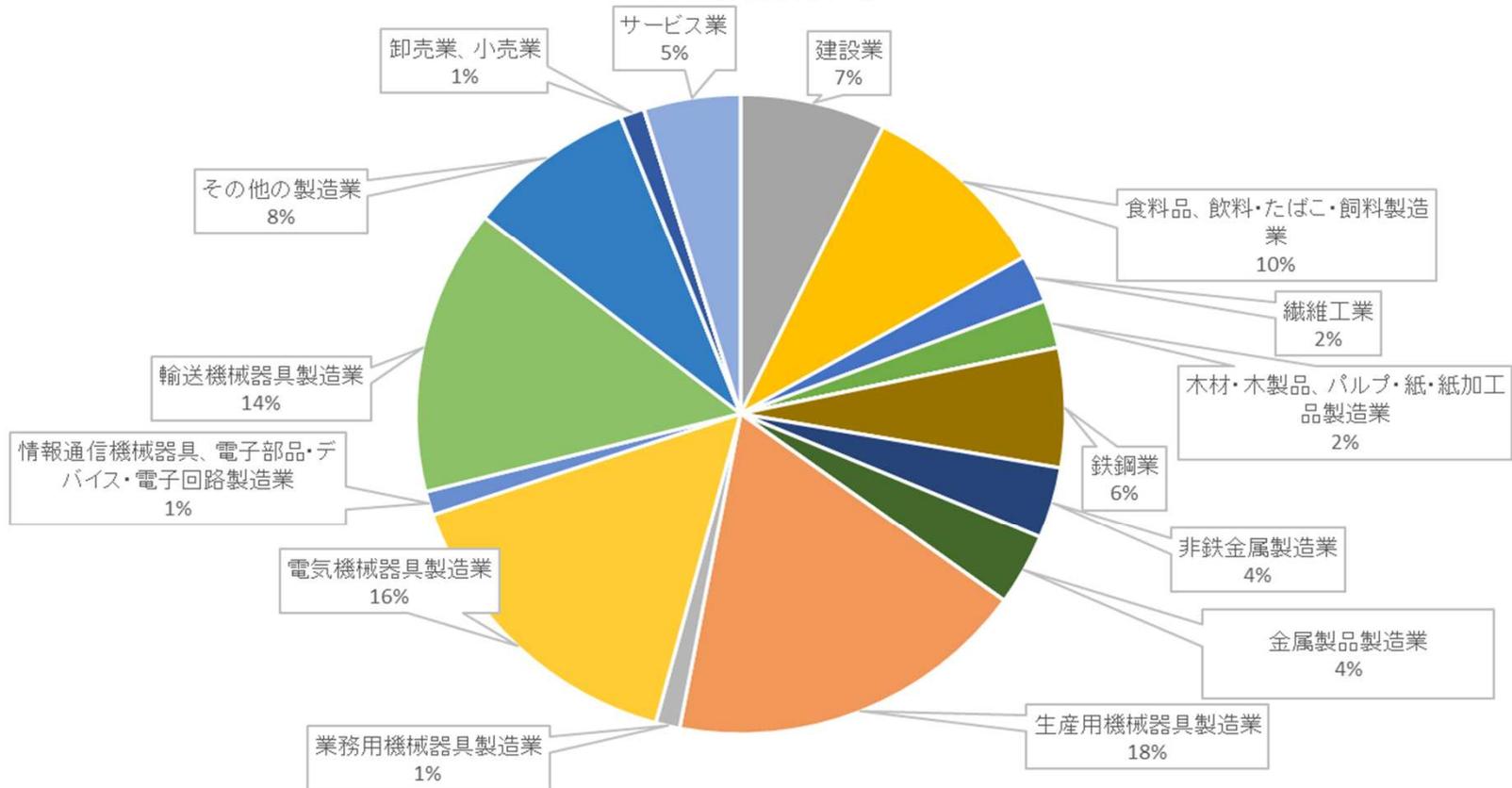
受講企業の規模：
当初対象としていた300名以下の企業は
75%を占め、50名以下の企業が30%と
なっている。

育成塾の主な実績内容（構成3）



ION
TOR

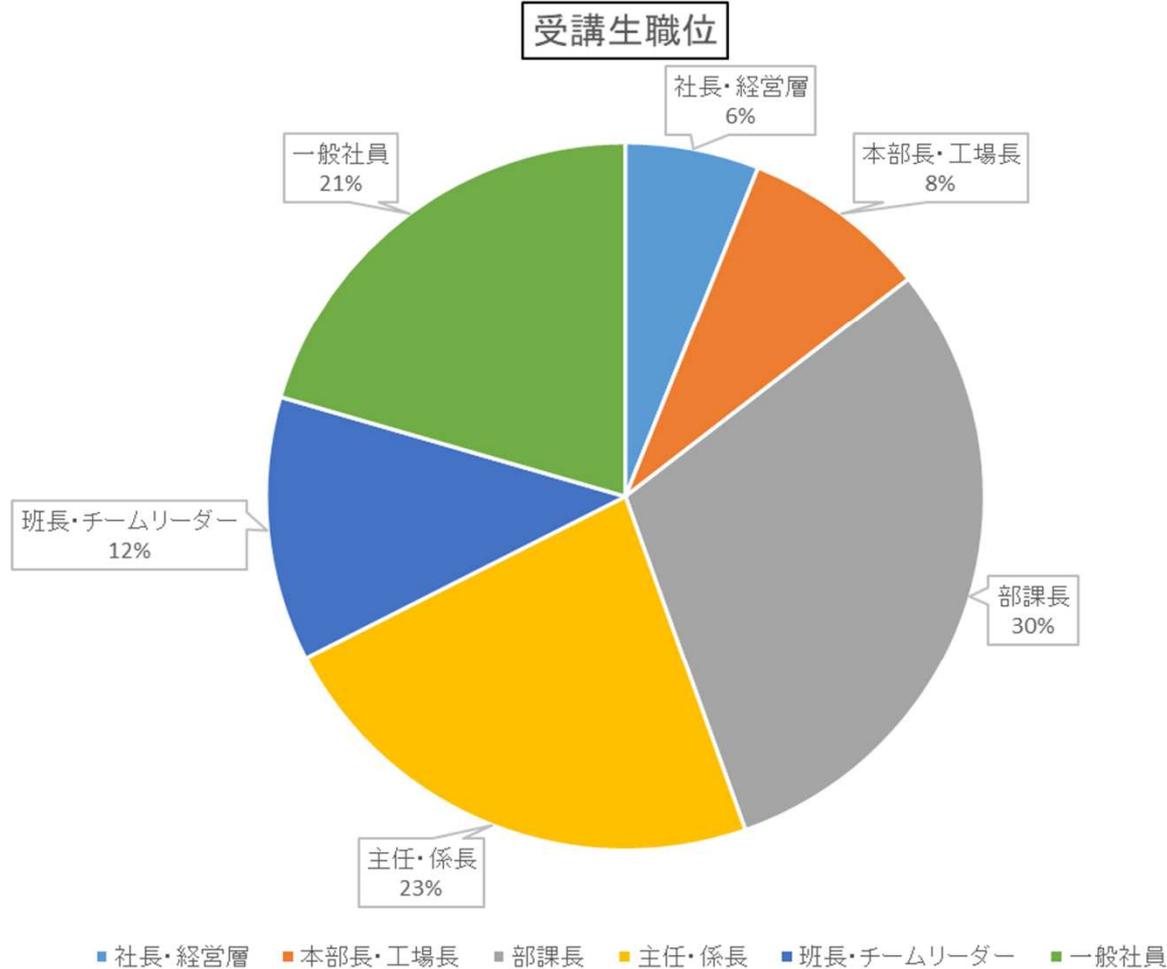
業種別割合グラフ



受講企業の業種：

生産用機械器具製造 輸送機械器具製造 電気機械器具製造で半数を占めているが、広い業種から受講している。

育成塾の主な実績内容（構成4）



全体の2割は、一般社員が受講。

育成塾修了生の活躍

経営者の場合

- ・ 自らが育成塾で習得した各種手法をトップダウンで駆使して、生産効率の向上を実現。
- ・ 改善活動推進の準備中(第7期修了生)
- ・ 受講をきっかけにして、社内推進のために「派遣事業」を採用

企業幹部の場合

- ・ 修了生が社内小集団活動を指導(社内でチームリーダーに対する教育カリキュラムで講義を担当している)
- ・ 修了生が社内プロジェクトの部門リーダーとして推進役を担う
- ・ 派遣事業実施を受けて、レベルアップを図るため育成塾受講へ。

チームリーダー格の場合

- ・ 会社が新設した新規組織で、修了生を核とした改善活動を推進
- ・ 修了生が社内の推進チームのリーダーとして活動推進
- ・ 修了生が中心となって、次世代に改善活動を伝授している。(小集団活動を継続実施)

等々

1. 改善指導者の育成

～ IoT・ロボット導入支援指導者育成事業

中小企業成長支援人材育成・派遣事業 (H27年度から実施)

H29年度より「スマートものづくり応援隊」事業

1. 現場改善指導者育成事業

イノベーションインストラクター育成塾

IoT・ロボット導入支援指導者育成事業 (H29年度より)

2. 改善指導者派遣事業

現場改善インストラクター派遣

産振構

課題に応じた カリキュラム の開発



カリキュラム受講(座学・現場実践)による
インストラクター養成 企業OB

カリキュラム受講(座学・現場実践)による
人材(現場リーダー)育成 企業現役

課題の
吸い上げ

インストラクター
の派遣

従業員の受講

従業員の能力向上

ものづくり企業

課題(例)

製造ラインの効率化
低コスト化を実現する設計加工技術確立
その他 ものづくり改善

現場改善能力
生産性の向上
IT・IoTの推進



取り組みの概要



現場改善指導者育成事業での受講対象の拡大

ITコーディネータ等、ITおよびIoTやAI等に知見を有する人材で、受講終了後にインストラクターとして現場改善活動に従事できる方を育成塾受講対象として追加して、指導者の拡大を図る。

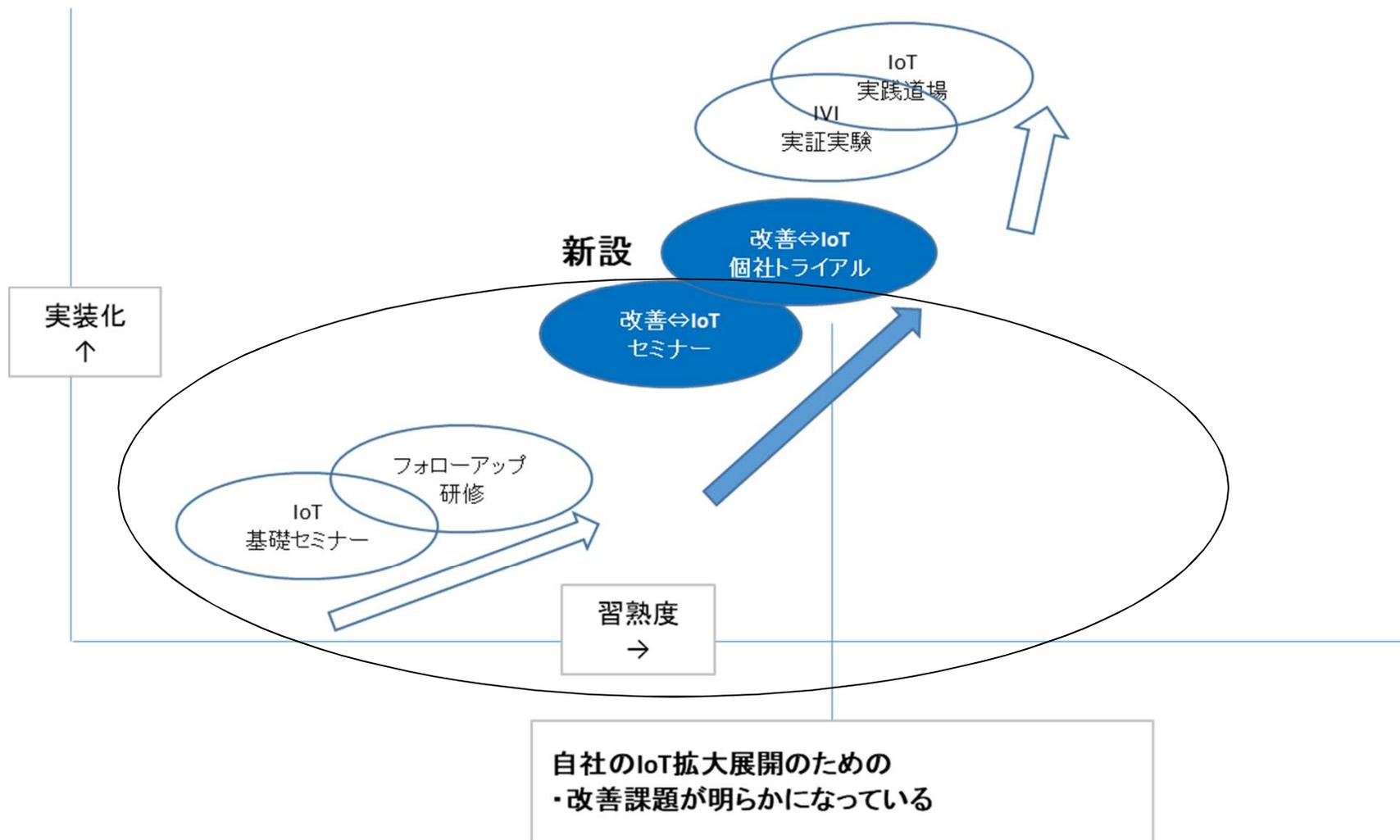
IoT実践セミナー

製造現場で経験豊富な人材に対しIoT・ロボット導入ノウハウ等の汎用的なスキルを習得する。

その基礎段階として、ITを活用した業務の効率化やIoTへの理解・興味を促すため、「IoT基礎セミナー」を2段階に分けて開催する。これは、昨年度の「IoT実践セミナー」から改名し、受講ターゲットをより入り口側へシフトした形で実施する（「IoT基礎セミナー」）。また、今年度は、体験型基礎コースを「IoT基礎セミナー」として追加開催する。

さらに、実装に近い実機を体験できる「改善 IoTセミナー」を開催（昨年度から継続）する。

取り組みの概要



IoT基礎セミナー

平成30年度「IoT実践セミナー」

やってみよう!

～今、ものづくり現場で叫ばれる「IoT」の導入…その実力は!?～

3つのステップで学ぶIoT

参加費
無料

定員
20名

※定員：各会場1社最大2名まで



IoT基礎セミナー

全体の流れ

第1日

IoT概論 IoT入門編（IoTの基礎知識・IoTの活用）

～事例も踏まえて、IoT導入に向けたプロセスを座学形式で学習する。

○「IoT導入ガイド」をベースにIoT導入プロセスを机上で検討する。

○架空の企業を舞台にコンサルタント目線で課題を発見し、IoTの適用ポイントを探る。

第2日

例題をもとに以下のステップをグループワークしながら体験学習する。

○ステップ1

現状の課題を明らかにし、目指す姿を定める。

グループに分かれて会社毎の異なる課題を整理し、ものづくりの現場がつながることで得られる理想的な姿を議論する。

～一般解につながる例題の準備も検討する。

○ステップ2

具体的な業務の場面から現状のシナリオを描く。

現実の業務の実態を場面ごとに役割とその活動として記述する。

モノと情報の流れがどのようになっているかを明らかにする。

○ステップ3

あるべき姿のシナリオとその実現手段を描く。

デジタル化によって、モノや情報の流れをデータに置き換えたあらたな場面を定義する。また物理的な配置も検討する。

セミナー当日のスケジュール(案)

1日目		2日目	
10:15	開会あいさつ	10:15	開会あいさつ
10:20	①IoTとは ・IoTの導入効果を事例で説明	10:20	全体が イクス
11:20	②IoT導入プロセス その1	11:00	ステップ1 悩みごとの見える化と共有
12:00	(休憩)	12:00	(休憩)
13:00	②IoT導入プロセス その2	13:00	ステップ2 AS-ISシナリオを書く
14:00	③事例研究 ・架空の事例の演習	15:00	TO-BEモデル化のこつ
		15:10	ステップ3 TO-BEシナリオを書く
17:00	最終まとめ	17:00	最終まとめ
17:30	終了	17:30	終了

IoT基礎セミナー



IoT基礎セミナー

全体の流れ

はじめに、IoT導入に向けてのプロセスについて「概論」を説明したあと、事例を踏まえてそこで使用された機器について紹介する。

基本となるIoTキット類について実機で説明し、参加者全員でそれぞれの機器に触れて、実体験する。

セミナーのスケジュール(案)

10:15	オープニング
10:20	IoTをはじめるにあたり
12:00	(昼食)
13:00	ITカイゼンとIoT事例紹介
14:00	IoT各種キットの紹介
15:00	(休憩)
15:10	IoTキットのデモ & 体験
16:55	クロージング
17:00	セミナー終了

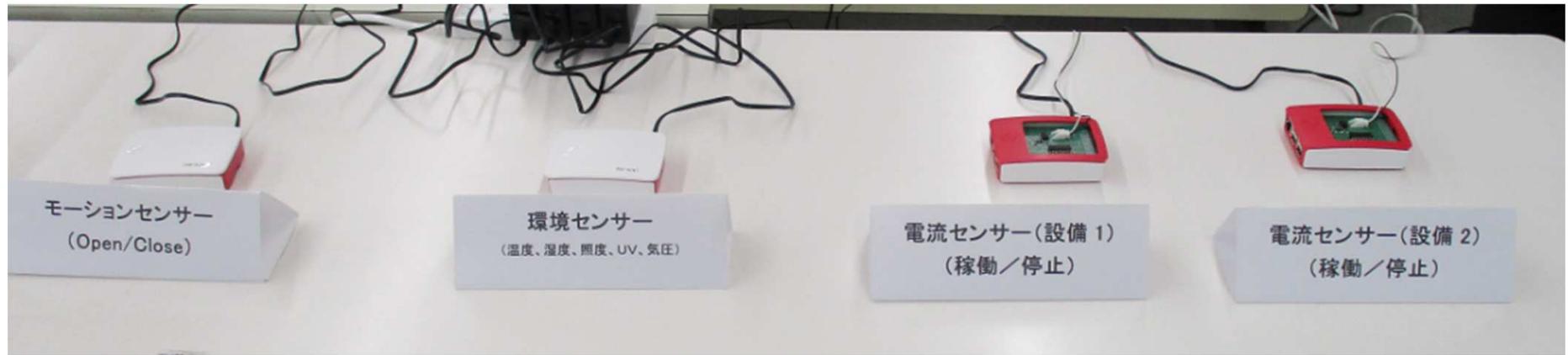
IoTキットの紹介と体験

- ・ マイコン + 磁気センサー
- ・ ラズパイ + 照度センサー
- ・ ラズパイ + モーションセンサー
- ・ ラズパイ + 電流センサー 等

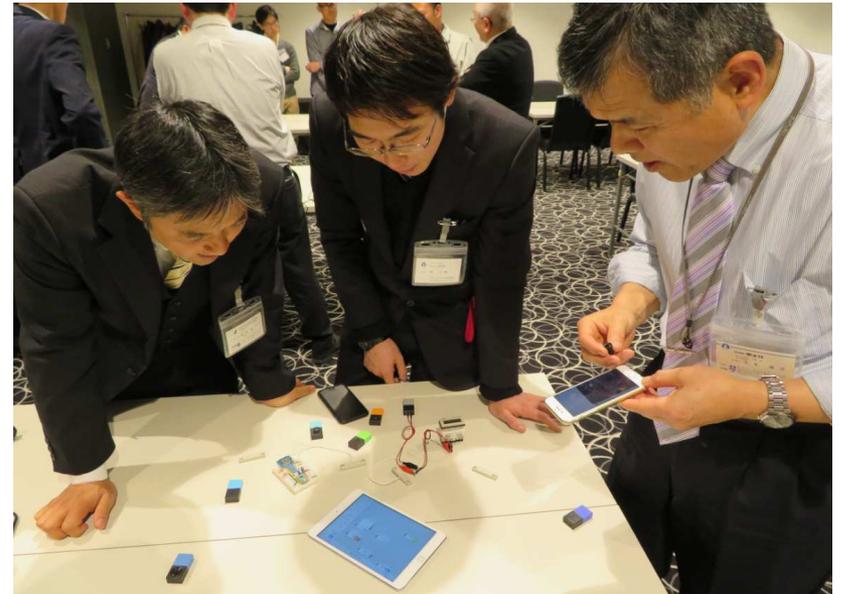
IoT基礎セミナー



IoT基礎セミナー



IoT基礎セミナー



「改善 IoTセミナー」

日本の現場を知り尽くした 講師が全監修した **世界初のIoTデモラインを一挙公開!**

生解説 /
現場で使える **IoT**

『中小企業にこそ
やって欲しい!』

Big Data

生産性 **10**倍どころと目指せ / No.1
改善 ↔ IoT セミナー

AI



2019年本格的なIoT実践期が到来します!
そこで!現場改善とIoTの**プロフェッショナル**を応募に**初招聘!**
オムロン、日本ガイシ、パナソニック、ルネサス、ヤンマー、P&G、現代自
年間200日あなたの現場を熱血指導する現役バリバリのコンサルタントが全監修。
技術、サービス、財務など**3年**で**39社**を徹底比較し、厳選したデバイスで**6の機能**を実現!

※本セミナーの開催場所は各都道府県企業研修センター(以下「センター」として呼称)内、IoT実用実習室(以下「実習室」)にて実施。開催スケジュールは各センターのウェブサイトをご覧ください。

「改善 IoTセミナー」

現場改善とそれを効率化・高度化するIoTを体験できるセミナーを開催する。実機デモでは、商品(出口)により近い形の機器・システムを紹介し、体験する。

全体の流れ

ものづくり(現場改善)とIoTの関連性や相乗効果について講師による講演を行い、続いて、IoTデモラインの概要と機能別説明を聞いた後、実際に見て触れながらIoTの実力を体験する。

セミナーのスケジュール(案)

10:00	オープニング
10:10	セミナー ~ものづくりIoT-1~
12:00	(昼食)
13:00	IoTデモライン 説明・デモ&体験
15:00	(休憩)
15:20	セミナー ~ものづくりIoT-2~
15:55	クロージング
16:00	セミナー修了

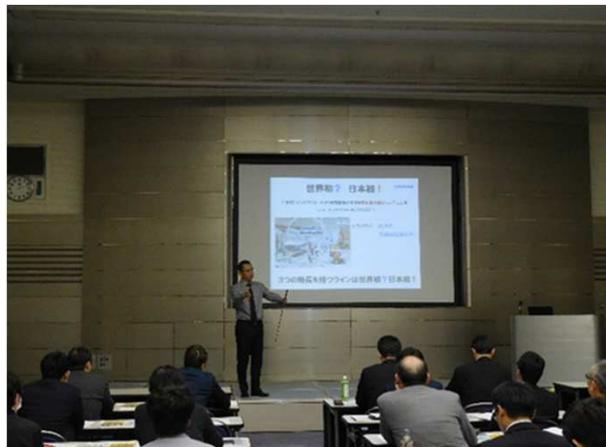
デモ実機の紹介と体験(案)

- ・スマートグラスによる人作業の遠隔支援
- ・簡易モニタリングによる設備の稼働監視
- ・AIアドバイザーによる技能・技術伝承
- ・音声認識による作業日誌の自動作成
- ・AIによる自動外観検査
- ・文字認識による文書管理

「改善 IoTセミナー」

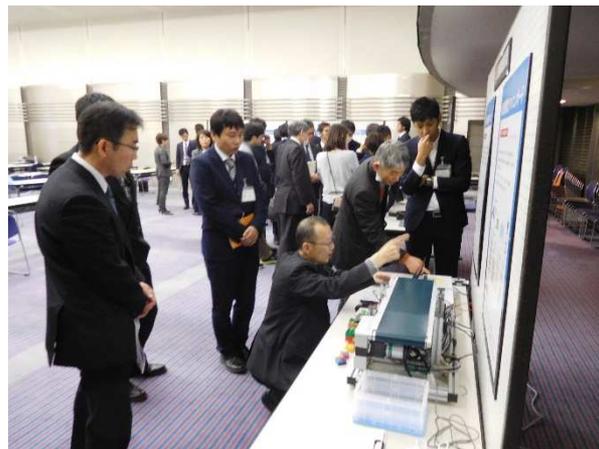


INNOVATION
INSTRUCTOR



セミナー（実機紹介及び機能説明）

セミナー（実機紹介及び機能説明）



デモ体験
文字認識による文書管理

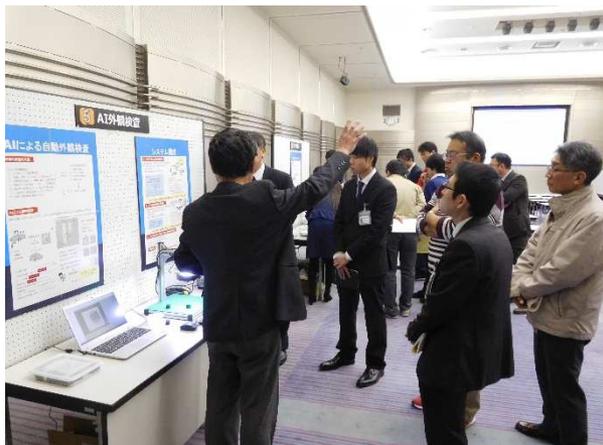
デモ体験
簡易モニタリングによる設備の稼働監視

デモ体験
AIアドバイザーによる技能・技術伝承
音声認識による作業日誌の自動作成

「改善 IoTセミナー」



デモ体験
スマートグラスによる人作業の遠隔支援



デモ体験
AIによる外観自動検査



デモ体験
【新】生活分析支援システム

2. 現場改善指導者派遣

中小企業成長支援人材育成・派遣事業 (H27年度から実施)
H29年度より「スマートものづくり応援隊」事業

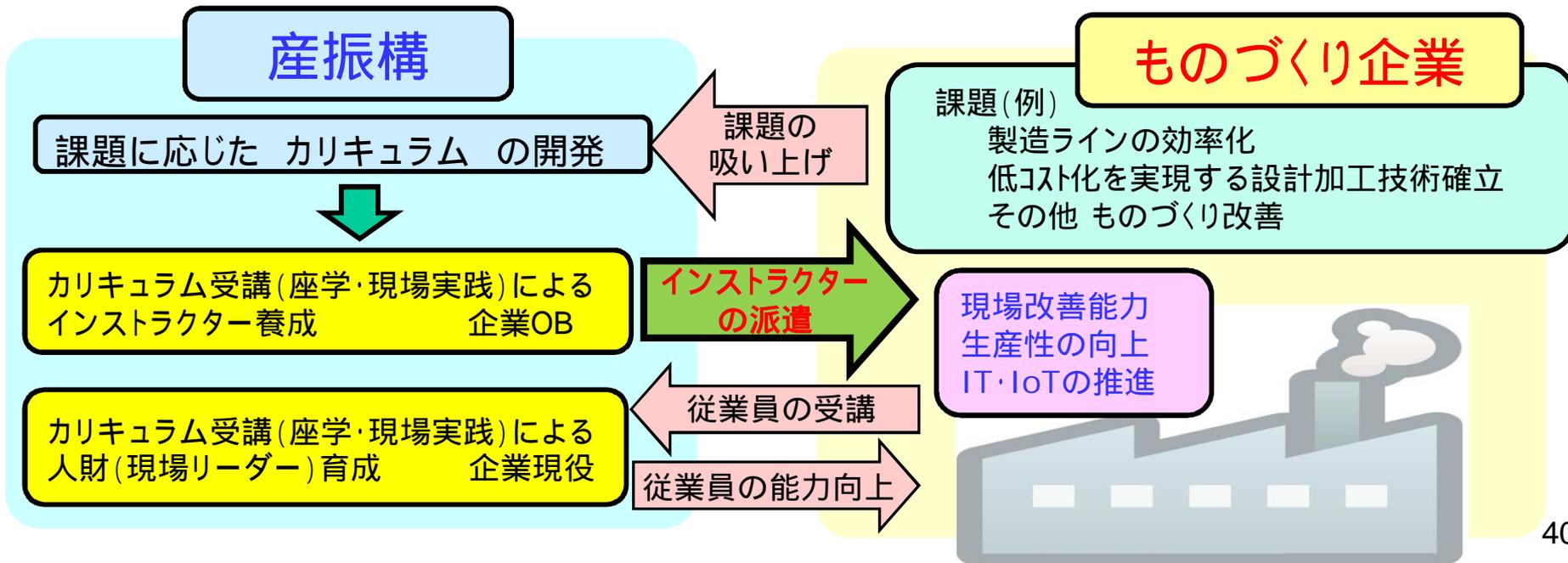
1. 現場改善指導者育成事業

イノベーションインストラクター育成塾

IoT・ロボット導入支援指導者育成事業 (H29年度より)

2. 改善指導者派遣事業

現場改善インストラクター派遣



現場改善指導者派遣募集案内

INNOVATION

あの熟練さんが
辞めたらどうしよう…



あー今月も
求人に応募なしがぁ…

作業は個人任せでシェアできず、
増える外国人スタッフの教育も悩ましい！
誰でも安全に作業できる職場を作りたい！

 深刻化する人手不足、高騰する人件費、
働き方改革による残業削減…
生産性を高めて人繰りを改善したい！

そんな悩みを一緒に解決!! ボトムアップ&対話型のサポートが魅力!!

さあ、呼ぼう! 現場改善インストラクター

公益財団法人ひろしま産業振興機構
 ひろしまものづくり人材育成センターは、経営者の方が抱えるこのような悩みを
 現場作業の改善を通じて解決するお手伝いをさせていただきます。中小企業の皆さま、一度ご相談いただけませんか？

相談や申し込みはどのような？	誰が指導してくれるの？	費用はどのくらいかかるの？
お電話またはメールで お問い合わせください。 スタッフが貴社へ伺い、 現場の問題点をお聞きします！	「イノベーションインストラクター 育成塾」※を卒業した ものづくりやITの専門家が お伺いします。 <small>※現場指導者の人材育成のプログラムです。(要選考)</small>	1つのテーマで最大5回※を1セット。 1回につき5,000円/人 をご負担いただきます。 <small>※回数による1日(要選考)1回(要選考)4回です。</small>

詳しい内容のお問い合わせは



公益財団法人 公益財団法人 ひろしま産業振興機構
 ひろしまものづくり人材育成センター
 〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ3F

☎ 082-240-7716 ✉ h-jinzai@hiwave.or.jp

裏面では…
取り組み企業様の声をご紹介します!

事例 #1 多品種少量製品の組立(広島市:1社)

事例 #2 木工家具製造(府中市:1社)

事例 #3 機械金属加工(府中市:1社)

事例 #1 多品種少量製品の組立(広島市:1社)

事例 #2 木工家具製造(府中市:1社)

事例 #3 機械金属加工(府中市:1社)

重複作業ロスを取り除き、
2名が降り合っていた
「最終組み立て」「検査」の
工程を1名に減員!

手待ちロスを見える化し、2階
工程の一部を1階へ移管。
作業効率が向上して
スムーズな出荷が可能に!

人の動きと設備の稼働状況
見える化し、内蔵取りを
外蔵取りに変更することで
稼働率UP!

わが社もやってみたい!

まずはご相談ください!

☎ 082-240-7716 ✉ h-jinzai@hiwave.or.jp

社内で改善をリードできる人材を育てたい!

そんな方にこちらの人材育成プログラムもオススメ

「イノベーションインストラクター育成塾」

“ものづくり”を“流れ”で捉えて、人や機械設備の
ムダやロスを取り除く改善スキルを講義と実習で学びます。
最大の特徴は、実際の現場をお借りしての実習です。
 様々な業種のホシモノの現場で実践しながら学びます!
 アフターフォローも万全です。ぜひ受検をご検討ください!

年2回、広島と福山で開催!

(広島)	5月中旬～8月初旬
(福山)	9月中旬～12月初旬 ※講義・実習は期間中18日
受講料	現役社員 15万円、ものづくりJOB 5万円
定員	12名

詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.hiwave.or.jp>

事例 #1 多品種少量製品の組立(広島市:1社)

事例 #2 木工家具製造(府中市:1社)

事例 #3 機械金属加工(府中市:1社)

申込から実施までの流れ

お申し込み

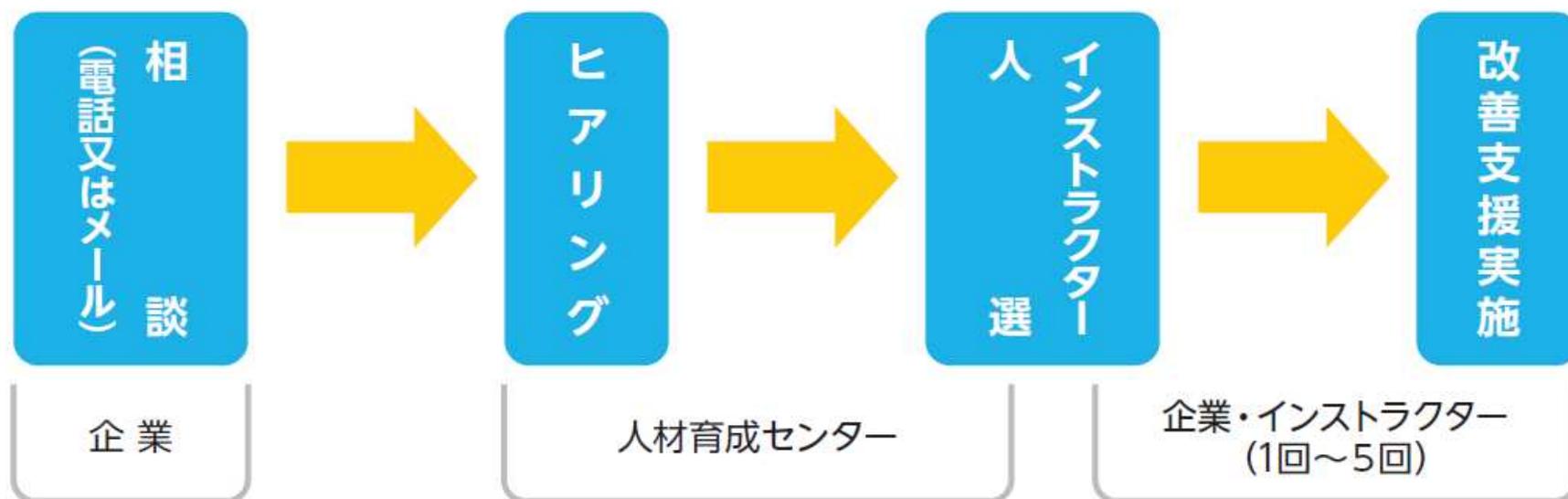
ヒアリング(人材育成センタースタッフが訪問)

インストラクターの人選

改善計画の策定:現場調査・課題決定・改善計画策定

(インストラクターが訪問)

改善支援実施:インストラクターは育成塾で学んだスキルや、豊富な経験を活かし、企業の社員と一緒に課題解決に取り組む。(最大5回)



派遣条件と実績

【派遣条件】

人材育成センターによる現場調査・ヒアリング 無料

インストラクターによる改善指導

1回～5回 5,000円(税込) 1回1人あたり

本派遣事業におけるインストラクターの改善指導は5回を上限とする。

【派遣実績】

H27年度: 1社

H28年度: 3社

H29年度: 6社

H30年度: 8社 延べ18社

○ H31年度: 8社 派遣中(6/30現在)

【派遣先企業】

機械製造会社、電気機械器具製造会社、金属加工製造会社、
塗装会社、縫製業、酪農業、等

END